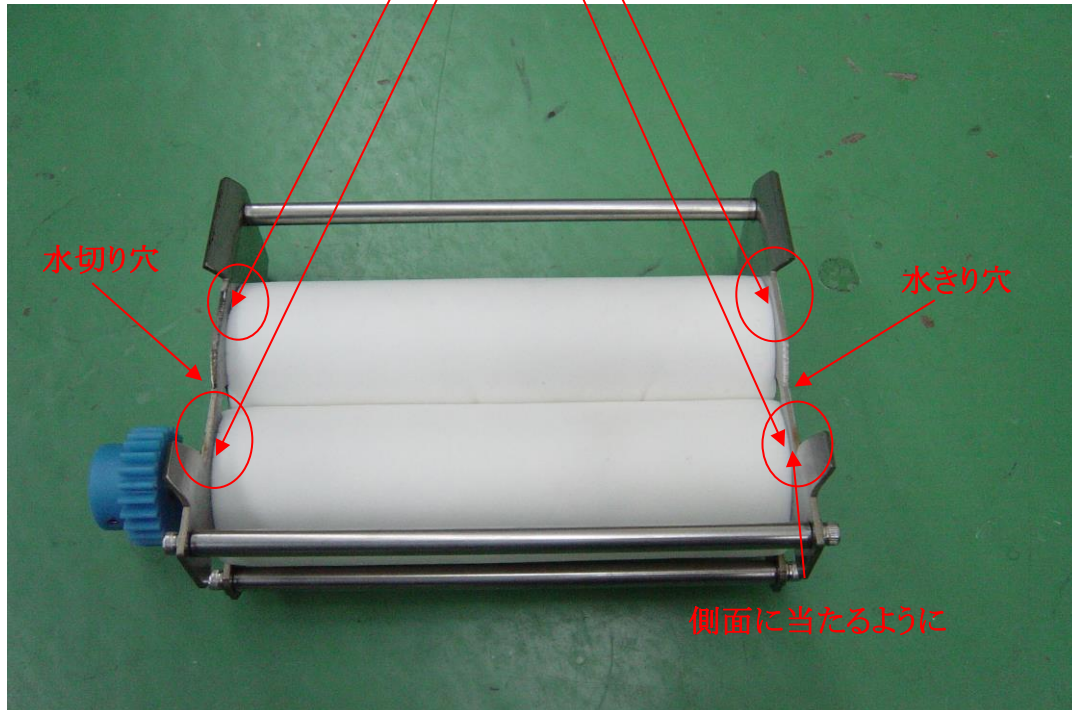


スポンジ交換時の注意点

スポンジが側面のフレームに当たるようにしてください。

※(スポンジをローラーに入れて少し伸ばし吸水ユニットフレームに当たる様セットする)



ドレンパン付近での水漏れについて

- ※ 1. 上記の様にスポンジが両サイド(フレーム)に密着していないと吸水された水分が直接真下に落下します、本来上記写真のようになっていれば水切り穴より水分が出てフレームを伝わりフレームの先端で落下する様になっていますのでスポンジが密着していない場合は少し運転しますと、自然に内側に密着します。また、スポンジを強制的に手で引っ張り密着させるかになります。

新規設置後、または、スポンジ交換時に発生する

- ※ 2. 水切り穴より勢いよく水は飛び出している。

フレームに自体が水をはじき水が流れにくい時

新規設置の際に有ります、自然に流れる様になります(表面に汚れが付着しだすと)

- ※ 3. ドレンパンの不良(溶接不備によるクラック)

部品交換しないと復旧しません。

以上が考えます。